

## 科学技術に関する調査プロジェクト報告書3点を刊行しました

『コロナ時代のソーシャルメディアの動向と課題』

『ゲノム編集の技術と影響』

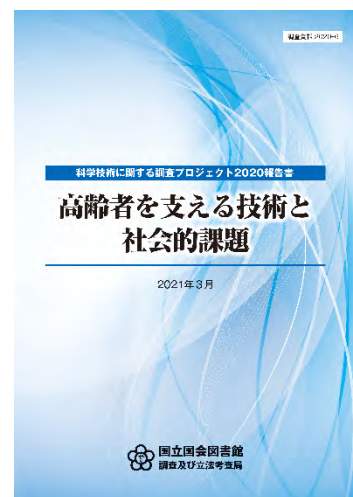
『高齢者を支える技術と社会的課題』

国立国会図書館調査及び立法考査局は、科学技術分野に係る重要な国政課題の中から特定のテーマを選定し、外部の専門家と連携して調査・分析を行う「科学技術に関する調査プロジェクト」を毎年度、実施しています。

この度、令和2（2020）年度のプロジェクトの一環として、次の3つのテーマについて、当館職員による調査や大学研究者等への委託による調査等の結果を取りまとめた報告書を刊行しました。

- 👉 『コロナ時代のソーシャルメディアの動向と課題』
- 👉 『ゲノム編集の技術と影響』
- 👉 『高齢者を支える技術と社会的課題』

各報告書とも、テーマ分野の基礎的情報から関連する論点・課題までを幅広く調査し、正確な情報を基に、客観性・中立性に配慮した上で、分かりやすく取りまとめるよう努めました。各テーマにおける課題を理解する一助として、是非ご活用ください。



#### ■ 『コロナ時代のソーシャルメディアの動向と課題』（調査資料 2020-4）

本報告書は、令和2年11月12日にオンライン開催したシンポジウム「コロナ時代のソーシャルメディアの動向と課題」の記録集です。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って生じたフェイクニュースの流布とユーザ行動に関するデータ分析を題材とし、社会心理学、憲法学、技術倫理等の様々な観点から議論することを通じて、ソーシャルメディアの課題を多面的に明らかにすることを目指しました。平和博氏、鳥海不二夫氏、三浦麻子氏、曾我部真裕氏、板倉陽一郎氏、久木田水生氏による報告、水谷瑛嗣郎氏によるコメントに加えて、パネルディスカッションの記録及び平氏による解説を掲載しています。

#### ■ 『ゲノム編集の技術と影響』（調査資料 2020-5）

ゲノム編集技術は、生物の遺伝子の持つ塩基配列の狙った箇所を酵素で切断し編集する技術であり、既に農水畜産物の育種や遺伝子治療への応用が試みられています。また、バイオテクノロジーにより持続的な経済成長と地球環境の保全を両立させようとする「バイオエコノミー」の鍵となるとも考えられています。本報告書では、ゲノム編集技術の概要、研究開発の動向、農業・医療・化学等の各分野における社会実装の現状と技術的課題、法規制や政策面の課題、倫理的課題等について、最前線で研究に携わる学識経験者の方にも参画いただきながら、整理を試みています。

#### ■ 『高齢者を支える技術と社会的課題』（調査資料 2020-6）

高齢者の生活を支える技術は、つえや車いす、特殊寝台等の福祉用具から、情報支援デバイス、コミュニケーションを支援するロボット、独居者や認知症者の生活を支える技術まで広く発展し、高齢者の心身状態に応じた多様な情報支援の可能性も広がっています。これらの技術には、その耐久性や安全性の保証とともに、高齢者の心身機能を維持、補助するだけでなく機能の改善や生活の質の向上に資する役割が求められます。本報告書は、高齢者の在宅での自立生活を促進する技術に焦点を当て、技術の現状や動向、期待される機能や役割、開発や普及における倫理問題、制度的・法的課題等について整理しています。

#### ■ 入手方法

国立国会図書館のホームページにPDFファイルで全文を掲載しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2021/index.html>

国立国会図書館トップ> 国会関連情報> 『調査資料』> 2021年刊行分

\* 冊子版の報告書の入手を希望される方は、下記のお問合せ先まで御連絡ください。

#### ■ お問合せ先

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103（直通）

#### （参考）調査及び立法考査局の「立法調査サービス」

国会議員からの依頼に基づき、政治、経済、社会、文化、科学技術等、広範な分野の国政課題について、根拠となるデータの収集や事実関係の調査から、論点整理、分析・評価まで、多岐にわたる調査を行います。また、現在・将来の国政課題について調査した成果を報告書などにまとめ、国会議員に提供しているほか、国立国会図書館ホームページで公開しています。